

多治見市バリアフリー推進協議会
委員各位

多治見市バリアフリー推進協議会
会長 磯部 友彦

**令和 3 年度第 1 回多治見市バリアフリー推進協議会
決議結果の報告及びご意見等への回答について**

早春の候、皆様ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、多治見市のバリアフリー施策に関し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、過日書面にて開催し、皆様から書面表決書をご提出いただきました令和 3 年度第 1 回多治見市バリアフリー推進協議会につきまして、決議結果及び、いただいたご意見に対する事務局からの回答を以下の通りお知らせ致します。

記

1. 決議結果

協議事項	賛	否
【議題 1】多治見市バリアフリー適合証の更新について（リフォーム・プレイス）	16	0

以上の結果から、議題 1 については、承認とします。

2. いただいたご意見等及び事務局の回答

事務局からの回答が必要がないと思われるご意見については、紹介だけさせていただきます。

議題 1. 多治見市バリアフリー適合証の更新について（リフォーム・プレイス）	
意見 (紹介のみ)	出入口やスロープも広めにとれていてよい。
意見	前回調査に同行した際も高評価でしたので、これを公民のリフォーム事業、障がい者、高齢者のリフォームに活かしてもらいたいと思う。
回答	いただいたご意見を事業者へ伝えるとともに、市としてもバリアフリー適合証交付事業を促進し、PRを行います。
意見	適合証は大きさ、形はどのようなになるか。A4 で、パウチ等で作るのか。
回答	12 c m×12 c mのステッカータイプのものになります。「優良」の文字が有るものと無いものの 2 種類あります。
意見	適合証認定の意義について、広報、HP などによる PR の強化が必要。
回答	機会を捉え、PR に努めます。

議題 2 バリアフリー基本構想 整備計画の進捗状況について	
意見 (紹介のみ)	<情報提供> 来年度、生活関連経路を利用して、重度障がい者の方が通学されるケースがある。総合福祉センター付近から国道 248 号線を横断し、駅北側から J R 多治見駅に入構し、電車で通学。ヘルパー事業者が支援予定。
意見	基本構想以外のバリアフリーについても進めていただきたいと思う。市街地においては歩道、交差点などの点字ブロックはほとんどされていないのが現状。
回答	基本構想は、全市の中でも特に、多くの高齢者、障がい者が利用する地域において、生活上必要とされることが多い施設や道路を優先的に整備することを目的として、整備計画を定めています。 そのため、まずは現在、基本構想で整備計画を定めている施設の整備を優先的に進めていきます。
意見	生活関連経路の中に駅西側にある音羽町と田代町を繋ぐ、鉄道下の通路について、整備計画に入れて欲しい。駅前が開発、整備されると鉄道北側の音羽町の方から地下道を通行されることが多くなることが予想される。現在、一方通行ではあるが、車が通れることになっているが、歩行者、自転車等が通ろうとすると狭くて危険である。
回答	当該道路（浦の田ガード下）は、その付近の道路も含め幅員が狭く、視覚障がい者誘導用ブロックの敷設や車いす等で安全に通れる幅員の確保等のバリアフリー整備を実施することが道路構造上困難であり、市としては、多治見駅南北自由通路や福祉道路等、より安全に通行できる他の道路のバリアフリー整備を優先的に進めたいため、浦の田ガード下やその周辺道路を生活関連経路に指定することは考えておりません。 なお、市内障がい者団体から、浦の田ガード下への信号機の設置や周辺道路のバリアフリー化等を求める要望書が提出され、バリアフリー推進協議会での議論を求められておりますので、次回以降の会議で議題として取り扱う予定です。
意見	未実施が多い。多治見市はこの活動を 10 年も行っているのにあまり進んでいないと感じる。優先順位を付けてできることから始めるのもいいと思う。
回答	現基本構想は今年度が運用初年度であり、また令和 3 年度のみを整備時期としている施設はないことから、令和 3 年度時点で未実施の整備目標が多くあります。 しかしながら、改定前の基本構想では整備時期に整備が完了せず、現基本構想に持ち越した整備計画もありますので、現在の整備計画については全ての事業がそれぞれ定めた整備期間中に事業が完了するよう事業者働きかけていきます。 なお、計画全体における個々の事業は、整備時期を定めることで、一定程度優先的に整備する箇所を指定できていると考えています。

議題3 総合的なバリアフリー化の推進 進捗状況について

意見 (紹介のみ)	生活していて気が付かないことがあると思ったが、自分が不自由になると本当にいろんなことが見えてくると痛感している。いろんな視点で見る必要性を感じた。
意見	公共の建築物についてはバリアフリー化がどんどん進んでいるが、民間においてはまだ遅れている。特に、個人営業の建築物についてもっとPRをお願いする。
回答	市ホームページやバリアフリー展などでPRはしておりますが、他の機会も捉え、PRに努めます。
意見	「資料4」4ページ 3-9 福祉教育読本による福祉学習について、過去、発達障害の知識が不十分な教員による授業で、本人や兄弟が傷ついた事例が出ている。授業をするにあたり先生方の十分な研修が必要と感じる。
回答	特別支援コーディネーターが、校内で福祉教育読本の活用を含め、障がいに対しての理解を深める研修を行っています。
意見	コロナ禍の中、計画どおりに進んでいるのは信憑性に欠ける。「具体的な取り組み」の内容が曖昧なので、何かをすればそれで計画通りになっている。取り組んだ内容についてはどうでも良いように思える。
回答	ご意見のとおり、コロナ禍で当初の予定通りの活動ができなかった場合もありますが、その中でできることを工夫して活動をしているため、計画通りとしています。

議題4 バロー文化ホール大規模改修におけるバリアフリー化について

意見	一般トイレについても高齢者、歩行困難者の利便性を大切に考えてもらいたい。
回答	一般トイレについても、下記内容の工事を行うことにより、利便性を向上させます。 ・館内の和式便器を、全て洋式便器に取替え。 ・大ホール及び小ホールのトイレは、全てのブースにL型手すりを設置。 ・大ホールトイレは、男女の出入口を分けて動線交錯を解消（分かりやすさ）。 ・トイレ内の通路を、可能な限り今までより拡張（歩きやすさ）。 ・人感センサー照明や自動水栓による非接触化（感染症対策機能）。
意見	現地視察を行った際、かなり意見が提出されていたため、ぜひ取り入れてもらいたい。
回答	今回の大規模改修工事では、ご意見を可能な限り反映させていただきました。やむを得ず対応できなかったものについては、今後の検討課題とさせていただきます。

多治見市のバリアフリー全般について	
意見 (紹介のみ)	県道の歩道に設置していただいた交差点、横断歩道内の点字ブロックは視覚障がい者にとって非常にありがたく、どんどん進めてほしい。
意見	市内施設の一般駐車場について、福祉センター、バロー文化ホールなど一般駐車場の幅が狭く、最近の車は車幅が広いものも多いため、子どもや妊婦の乗り降りがしにくいという声があったため、お伝えする。
回答	各施設にご意見を伝え、改善を促します。
意見	公共交通の貧弱さについて今一度考えてもらいたい。
回答	公共交通に関しては、昨今、全国的な利用の低迷や乗務員不足が課題となっており、さらには昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業で非常に厳しい状況におかれています。 そのような中で公共交通網を整備、維持していくため、行政、事業者、市民が協働し状況改善の方法を検討しています。 公共交通を維持、改善させていくためには、今以上に多くの方に交通機関をご利用いただく必要があるため、市民の皆様に対しても積極的な交通機関の利用を働きかけていきます。
意見	駅南再開発に伴い、開発地域内はもちろん、主要施設へのアプローチについても注意深く、安心して往来ができる動線のバリアフリー化が大切である。
回答	駅南市街地再開発事業区域付近の道路は、生活関連経路としているものが多く、それらの整備を促進することで、駅南市街地再開発区域への往来も利用がしやすくなるよう整備を進めます。